

# たすき掛けプロジェクト ～ピアサポーターの活躍の場～

第26回日本精神障害者リハビリテーション学会東京大会  
平成30年12月14日～12月16日

一般社団法人スターアドバンス「コン」  
NPO法人 ヒーライトねっと「ゆい」  
NPO法人 SIEN「そう」

千葉県船橋市  
東京都江戸川区  
東京都葛飾区

# タイムスケジュール

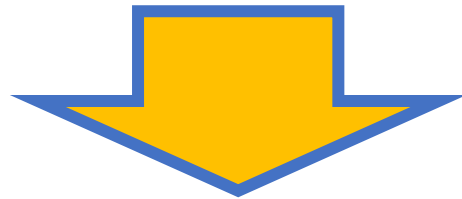
- はじめに・**遠藤** 10分
- 「たすき掛けプロジェクト」の特徴について・**義満** 10分
- 取り組みの過程～具体的な取り組みの内容(DVD)と今後の予定 10分
- 実践報告！(各10分) 40分
  - 第1(参加)ステージ・定例会に参加した**内山さん**からの報告
  - 第2(実習)ステージ・実習に参加した**佐々木さん**からの報告
  - 第3(就職)ステージ 実習を経て「SIEN」に就職した**高原さん**、他法人に就職した**小田代さん**からの報告
- 取り組みから見てきたもの・**鎌田** 10分
- 質疑応答 10分

# そもそもの始まりは・・・

- ・前法人の時に、「生活訓練」の利用者さんたちが・・・
- ・ピアサポートに興味を持った
- ・生活訓練の中で勉強会
- ・地域活動支援センターに場所を移して勉強会
- ・次の年も勉強会
- ・次の・・・
- ・「何年勉強すればいいんだろう??」

# 「ピアサポートに興味があり」 「ピアサポーターになりたい」 を実現したい！

- 自法人の「ピアサポーターになりたい！」というメンバーの気持ちを、自法人で実現する場合、「一本釣り」になりやすい。
- 「一本釣り」は、様々な問題をはらんでいる！？



- 目指す方向が同じ(法人の理念が近い。生活訓練をやっている。)
- 距離的に活動を一緒に行える(電車で30分圏内)
- **3法人合同で「たすき掛けプロジェクト」をスタート！**

# ステージは3段階(今のところ)

千葉県 精神障害者ピアサポート  
専門員養成研修

東京都 相談支援専門員  
初任者研修



参加ステージ

- ・ 島田
- ・ 佐藤、他



実習ステージ

- ・ 吉田



ピアスタッフ

- ・ 小田代

ボランティア  
高原

# たすき掛けの特徴



実習生

今は利用者？

それとも  
実習生？



職員

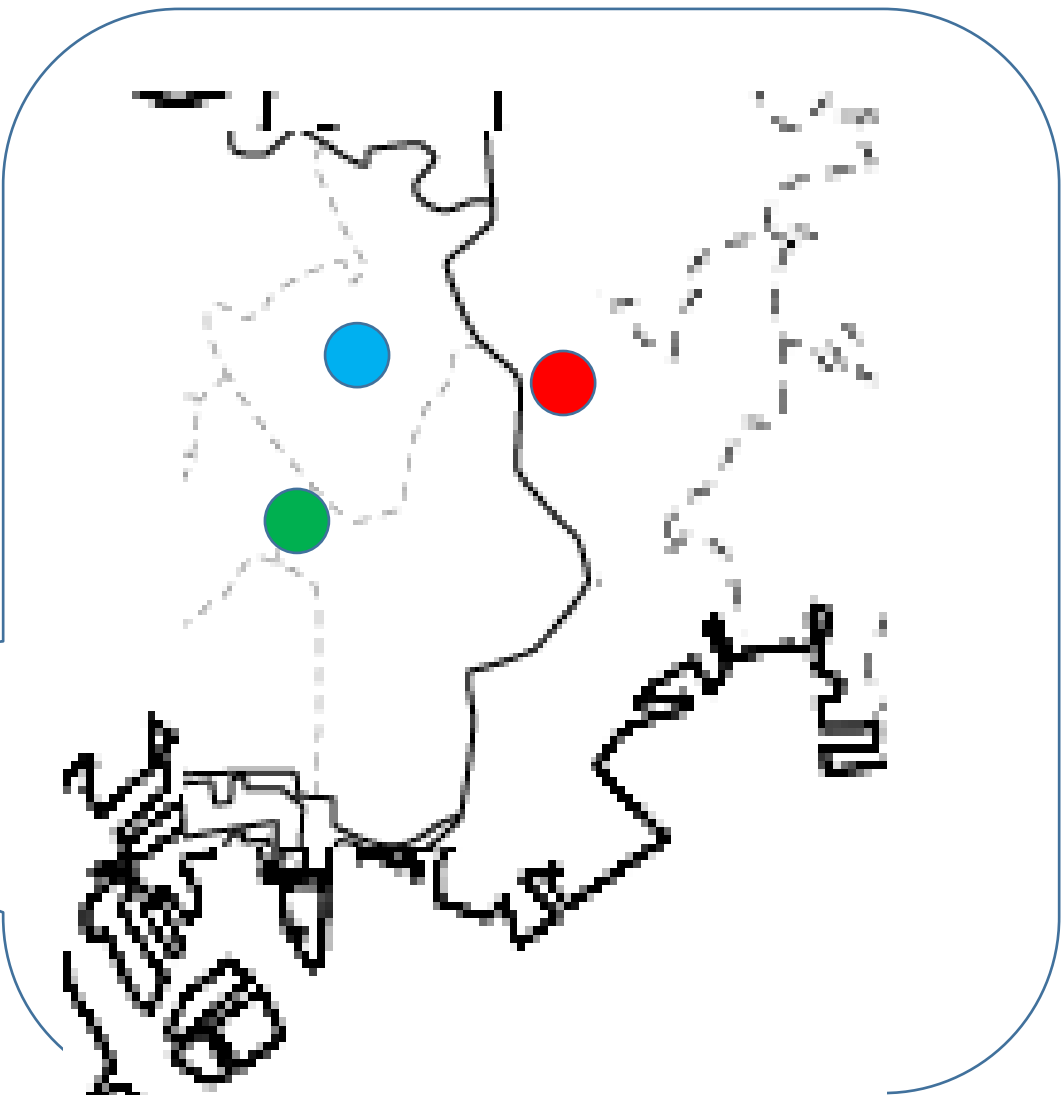
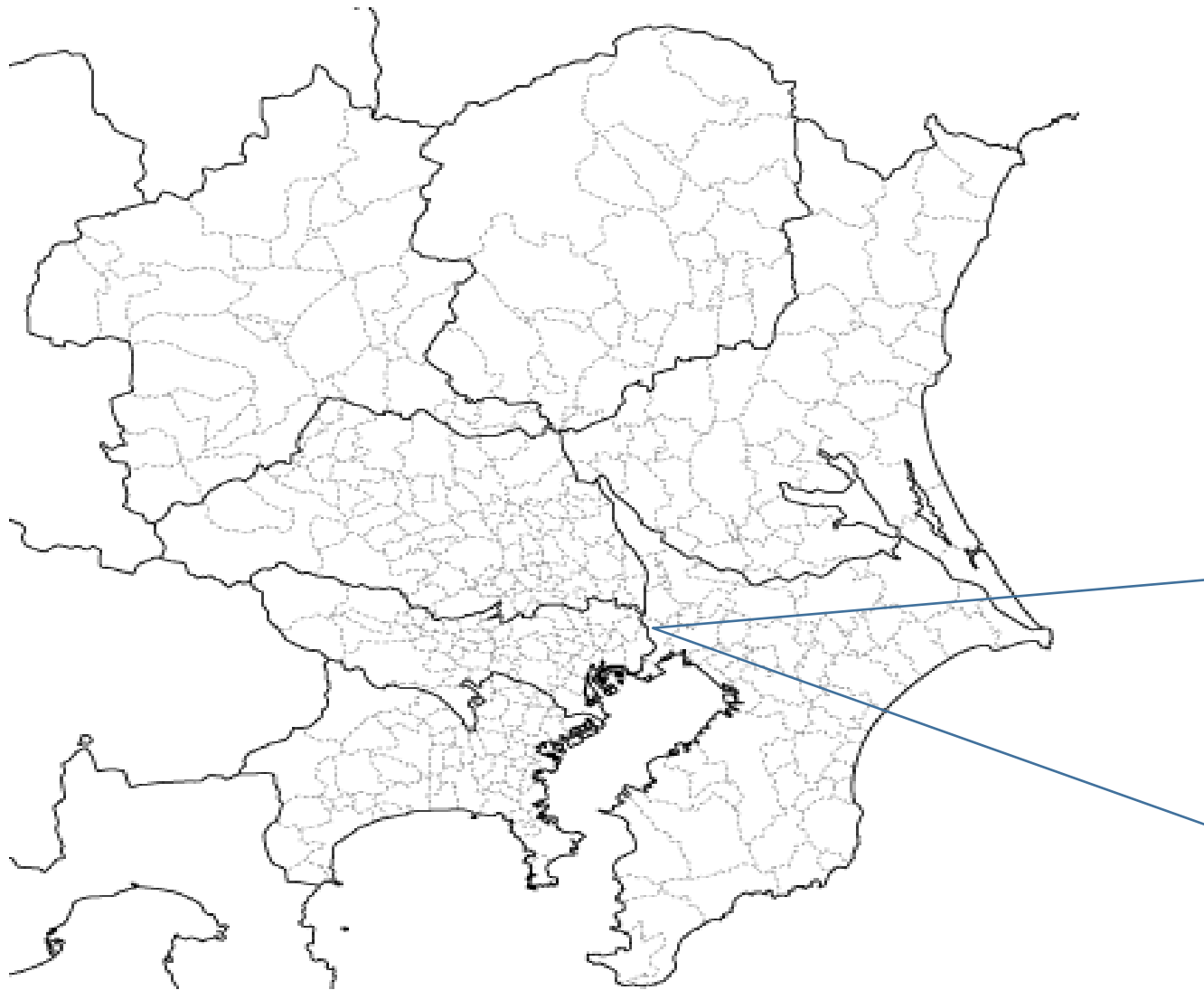
# 2法人以上あれば…

利用者

他事業所で実習可能⇒「利用者」としての自分を知られていない場所で活動できる

事業所スタッフ

利用者？実習生？という混乱がない



● ...スターアドバンス    ● ...N    ● ...ヒー    ● ...トねっと



# 少ない法人で活動するメリット

暮らしやすい  
地域づくり  
ピアに関心がある

月1回の  
定例会

月1回で2時間だから  
調整しやすい

業務の負担が少ない

絶対参加ではない

法人の  
理念が近い

3事業所  
だから  
連携  
しやすい

連絡がとりやすい

日程調整が容易

# たすき掛けの歴史

定例会を第三木曜日AMに固定  
司会・次第を持ち回りに

議事録はホワイトボードを  
写真に撮る

たすき掛け  
スタート

第二期

第三期

スタート

1年後

1年半後

現在

# 「ピア」が分からなくても始められる

**利用者**として一人ひとりのペースや目的に  
応じられる

利用者自身が自分のペースで進めることができる

ピアの実習ではあるが他の事にも応用できる経験や気づきを得ることができる

# 「ピア」が分からなくても始められる

## 事業所スタッフとして

「ピア」についてよくわからなくても始められる

一緒にピアについて勉強する事からできる

一法人のみではないため、具体的にどうしたらよいか他法人と一緒に考えるができる

# 協働する法人の取り組みを知り視野が広がる

利用者

選択肢や知識の幅が広がる

事業所  
スタッフ

それぞれの法人の特色が分かる  
ピアの為に役立つ制度や情報の共有

このような特徴があるからこそ、  
5年間続けることができています！

# ピアが分からなくても始められる

**利用者**として一人ひとりのペースや目的に  
応じられる

利用者自身が自分のペースで進める  
ことができる

ピアの実習ではあるが他の事にも応用  
できる経験や気づきを得ることができる

# ピアが分からなくても始められる

## 事業所スタッフとして

ピアについてよくわからなくても始められる

一緒にピアについて勉強する事からできる

一法人のみではないため、具体的にどうしたらよいか他法人と一緒に考えるができる

# 協働する法人の取り組みを知り視野が広がる

利用者

選択肢や知識の幅が広がる

事業所  
スタッフ

それぞれの法人の特色が分かる  
ピアの為に役立つ制度や情報の共有

このような特徴があるからこそ、  
3年間続けることができています！



# 各法人の現状

配布資料を御覧ください

# 具体的な取り組みの様子

動画撮影に協力してくださっている利用者の方には同意を頂いております。

※ 写真・動画撮影はご遠慮ください。

# 「ゆい」での定例会の様子



「そう」でのボランティアの様子











# 実践報告

# ステージは3段階(今のところ)

千葉県 精神障害者ピアサポート  
専門員養成研修

東京都 相談支援専門員  
初任者研修



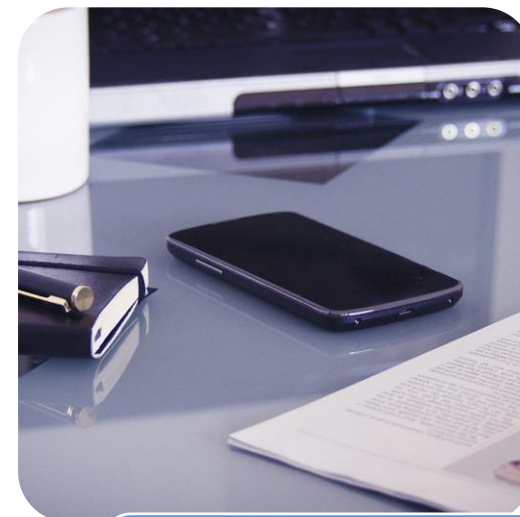
参加ステージ

- ・ 島田
- ・ 佐藤、他



実習ステージ

- ・ 吉田



ピアスタッフ

- ・ 小田代

ボランティア  
高原

第1ステージ

参加

## 内山

「たすき掛け」に  
参加するよう  
になったキッカケ

生活訓練センターそうを利用して、ピアスタッフの  
事を知り、参加する様になりました。

現状の  
活動報告

現状の活動は、生活訓練センターそうの利用者として活動しながら、実習に出ています。

気付いたこと  
良かったこと  
困った事  
難しい事

気付いたことは、こうした活動の場所があること。  
良かったことは、活動の場が僕でも出来る事。  
困った事は特にありません。  
難しい事は現実にピアで働いていけるかという事。

第2ステージ

実習

佐々木

「たすき掛け」に参加するようになったキッカケ

以前通所していた就労継続支援B型事業所で対人関係に困ることがあり、利用者やスタッフの役割について考えることがあった。その時にピアについて知り、興味を持った。しかし研修に参加したり活動するには至らなかった。自分でもネットでも調べてみたが情報が少なく、また文章が難しく挫折…。

ピアサポーターに興味がありつつもなかなか実際の活動には至らぬままであった。そしてアクティビティサポートセンターゆいの生活訓練の利用が開始され、たすき掛けプロジェクトを知り参加することとなった。

現状の活動報告

定例会に参加。平成30年2月から毎月参加している。  
平成30年10月1日より初めての実習を開始。

気付いたこと  
良かったこと  
困ったこと  
難しいこと

気付いたこと→自分を見つけなおすきっかけになった。  
良かったこと→利用者の代弁をできると感じたこと。定例会は情報共有の場となった。自分が利用者の立場のときには感じられなかった活動の意図を知れた。

困ったこと→専門用語が飛び交うとわからない。自分でオンオフをつけられないと体調管理が大変と感じた。

難しいこと→自分の性格やもともと苦手な部分をどうしたらよいのか迷うことがあった。

第3ステージ

ピアスタッフ

小田代

「たすき掛け」  
に参加するよ  
うになった  
キッカケ

スターアドバンスの創設の頃よりたすき掛けに参加している。  
きっかけは以前よりピアスタッフとして働きたかったから。

現状の  
活動報告

現在、市川市内の法人の地域活動支援センターにて指導員として週3日  
働き1年半になる。ピアとしての力を発揮し沢山の難問を解決に導き、  
今は中核として働いている。企画を練ったり、悩みをスタッフと共に解  
決していく等、チームワークにも心がけ、日々活躍している。

自分にとって  
のメリット・デ  
メリット

メリット・・・ピアサポートの勉強が出来る。それにより深く広く知識を得  
ることが出来、自らの糧になる。  
デメリット・・・勉強・知識を得る為には時間も見つけなければならない事。



# 高原

「たすき掛け」  
に参加するよ  
うになった  
キッカケ

ゆいに通っていた頃に、気仙沼にボランティアに行き、メンバー4人とスタッフ1名と協力し合った事と、東京都相談支援従事者初任者研修のサポーターを行った事。サポーターを行った後、職員さんにピアサポートというものがあるよと教えて頂いたことで興味を持ちました。

現状の  
活動報告

たすき掛けに参加し、実習とボランティアを経て、そう働いています。そうではメンバーと一緒にプログラムに参加し、メンバーの成長を喜んだり、自分も何かメンバーの為に出来る事はないかと考えながら、自分の苦手な事などは、メンバーに助けてもらいながら出来る事を出来るだけやっています。

自分にとって  
のメリット・デ  
メリット

メリットはピアスタッフとして病気を理解してもらえるスタッフの中で仕事をしながらピアの勉強をさせてもらえる事です。ピアスタッフとして成長する事が出来るならこれからも継続して続けていけたらと思います。  
デメリットは自分の体調管理が難しいことと、ピアスタッフとして自分はちゃんと出来ているか心配になることです。あと、相談が苦手です。

# 取り組みから見えてきたもの

～3法人の活動を継続していくことで、見えて来たもの～

# プロジェクトの展望

「プロジェクトの冊子を作りたい」

「プロジェクトの取り組みが、他の地域でも行われる様になって欲しい」

「事業化して、当事者だけで運営をしたい」

# 当施設が利用している助成

障害者日中活動系サービス推進費  
(生活介護、自立訓練、就労移行、就労継続)

# 障害者雇用加算

対象者の雇用時間数に応じて

年額 435,000円 ~ 1,887,000円

【対象者】

- ① 身体障害者手帳、愛の手帳、又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者
- ② 満60歳以上65歳未満の者
- ③ 母子家庭の母または寡婦(父子家庭の父なども含む)

※特定就職困難者雇用開発助成金など、他の公的補助の対象となる者は除く

## 総雇用時間数と単科額

総雇用時間数	単価(年額)
400~799時間	435,000円
800~1,199時間	726,000円
1,200~1,599時間	1,016,000円
1600~1,999時間	1,306,000円
2000~2,399時間	1,597,000円
2,400時間以上	1,887,000円

# 質疑応答

ご清聴ありがとうございました